

讃美歌誕生秘話 「暗き谷はきえうせん」

詩篇23篇は、聖書の中で、おそらく最も多くの人から愛されている箇所だと言われています。

主は私の羊飼いです。
私は、乏しいことはありません。

主は私のたましいを生き返らせ、
御名(みな)のために、私を義の道に導かれます。
たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、
私はわざわいを恐れませぬ。
あなたが私とともにおられますから。

この詩篇から多くの讃美歌が生まれ、歌い継がれています。「暗き谷はきえうせん」もその一つです。作詞したウィリアム・O・カッシングは米国の牧師として、長く働いてきました。ところが、あるとき、彼に試練が訪れます。愛する妻との死別です。彼は、落胆のあまり心身を煩い、牧師の職務を退かざるをえなくなりました。彼は、神様のために働く道が開かれるよう、必死で祈りました。彼の祈

りは聞かれ、讃美歌の歌詞を書く力が与えられたのです。彼は300以上のすばらしい讃美歌の歌詞を書きました。「暗き谷はきえうせん」は、まさに彼が身をもって詩篇23篇を体験した証しとすることができます。

1. 暗き谷はきえうせん 暗き谷はきえうせん
み民を迎うために 主イエス 来まさば
(おりかえし)
暗き夜はあけん 暗き夜はあけん
み民を迎うために 主イエス 来まさば
2. なげきと涙はうせん なげきと涙はうせん
み民を迎うために 主イエス 来まさば
3. 別れもなく死もなし 別れもなく死もなし
み民を迎うために 主イエス 来まさば
4. ふたたび我らは会わん ふたたび我らは会わん
み民を迎うために 主イエス 来まさば

詠み人知らず

立春の日のとどきをり 木賊叢(とくさむら)

宝塚栄光教会は、昔から川筋と呼ばれた静かな住宅街に立地し、美しい逆瀬川沿いに四階建ての端正な建物が目に入ります。

日曜の主日礼拝の朝は、夫と息子と三人で語りながら、植木や草花の多い住宅地を通り抜け、川沿いに水の流れや水草を楽しみつつ、教会への至福の時間を過ごします。

爛漫の春ですが、この度は特に地味な木賊の句を選びました。家の近くに木賊の叢があります。黒味を帯びた緑色で麦わらの様な茎がニョキニョキと突っ立っている不思議な植物です。硬い珪酸を含んだ茎で、昔は物を研ぎ磨くのに使われていました。

日曜礼拝の道すがら、やや暗い木賊の叢に、日の

光が根本まで、朧々と差し込み、一隅の美しい風情に惹かれました。

教会では神様の隅々まであます所なく照らし、恵み給う御心に打たれました。



教会の庭のモッコウバラとチューリップが満開を迎えました。

ケアプラン デイサービス  「ケアプラン オリーブの実」 ☎:0797-73-6055
「デイサービス オリーブの実」 ☎:0797-73-6077
お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

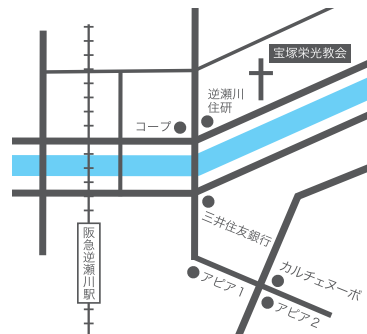
TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com
http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル
毎週更新。24時間つながります。
0797-77-3746

ポッドキャストでも配信！
ホームページから利用できます。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。



弱さに同情してくださるお方

イエス・キリストとは、私たちにとってどういうお方でしょうか。何よりも、キリストは私たちの救い主です。私たちを罪と滅びから救ってくださるお方です。それだけではありません、私たちを励まし、慰めてくださるお方です。

聖書にこうあります。「私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。」(ヘブル人への手紙4章15節)

私たちは、生活をしていて様々なトラブルに遭います。健康の問題、経済的な問題、仕事の上での問題、夫婦や親子・嫁姑などの人間関係の問題…。数え上げれば切りがありません。そうしたトラブルに囲まれて、私たちは悩み、苛立ち、疲れ果ててしまいます。いろいろな人が励まし、慰めてくれますが、そう簡単に癒されるものではありません。

しかし、本当に私たちを慰めてくださる御方がおられます。それが、大祭司と言われているイエス・キリストです。大祭司とは、昔、

イスラエルの人々が罪を犯したとき、犠牲をささげて神にとりなす人です。キリストは、罪を犯して神から離れてしまった私たちと、神との間に掛け橋となって、とりなす大祭司として十字架にかかってくださったのです。

このキリストによって、私たちのすべての罪は赦され、私たちは救われます。そしてこの救いをいただいたなら、キリストはいつも私たちを慰め、励ましてくださいます。

キリストは、罪こそ犯されませんでした。それ以外は、ことごとく私たちと同じ弱さを持つ人間としてこの世にいられました。私たちの味わう試練を、キリストは全部味わってくださいました。ですからキリストは、弱い私たちを思いやっってくださいることができるのです。

もし、あなたが今、困難にぶつかったり、出口の見えないトンネルに突っ込んだりしておられるなら、イエス・キリストを信じて、お頼りしてください。きっと思いがけない、明るい道が開けてくることでしょう。



「乗鞍高原にて」

JR松本駅で 松本電鉄上高地線に乗り換えると
終点新島々駅へ さすがに外気はひんやりしていた
ここからは バスにて乗鞍へ向かう

北アルプス乗鞍岳(標高3,026m)の東山麓に広がる 乗鞍高原は
標高の低いところで1,100m 高いところでは1,800mもある

この辺りの5月は まだ早春であった

乗鞍岳の雪融け水が 流れはじめると
まちかまえていたように 一斉に水芭蕉が 咲き始める
水芭蕉は この時期が最盛期で
白い苞が 鮮やかで 美しい
乗鞍高原の春のスタートの しるしである

残雪の乗鞍岳を 遠く眺めながら 足元を見ると
リョウキンカ ショウジョウバカマ ニリンソウ
小さな花の群生も 短い春を力一杯
謳歌するように 懸命に咲き競っている

清冽な水の流れるに 手をつけてみると
切れるような 冷たさであった
無心に花をつける草花と 同じ空気にふれて
山を後に 日常の生活に戻る

わたしは不毛の高原に 大河を開き
谷あいの野に 泉を湧き出させる
荒れ野を湖とし 乾いた地を水の源とする

イザヤ書41章(聖書)